

令和8年度 入学式式辞

厳しい冬を越え、冷たい風の中にも、確かな春の訪れを感じる本日ここに、御来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和8年度入学式を挙げていきますことを大変うれしく思います。

ただ今名前を呼ばれました240名の皆さんの入学を心から歓迎します。

私が新入生の皆さんにこの場でお伝えしたいのは2つです。

まず最初に、この3年間で、「自分の強み」を見つけて、それを大切に磨いて欲しいということです。できない何かにくよくよ悩むのではなく、高校に入ったら、まず得意なもの、好きなものにのびのびと打ち込んでみてください。それがあなたを支える誇りとなります。勉強でも部活でもいいですし、誰よりも本を読むことなど、趣味の世界でもいいのだと思います。私自身の高校時代を振り返ると、数学も運動も苦手だった私を救ってくれたのは地理という学問でした。誰にも負けたくないと思えるほど勉強し、それが今の職業につながりました。人は、これだけは絶対他人に負けない何かを持てば、たとえ他の全てに負けていても、卑屈な劣等感を抱かずに生きていけます。誇りを持って生きている人に、人々は必ず敬意を払ってくれます。「強み」は必ずあなたを支える大きな力になります。

2つめは「学ぶことの意味を見失わないで欲しい」と言うことです。現代は誰もがAIなどのテクノロジーの恩恵を受ける一方で、様々な格差も拡大しています。終わりの見えない戦争や、権力者たちの不毛な言い争いも続いています。こんな現実が、若い皆さんたちの目にはどのように映っているのでしょうか。未来への希望を持ちづらい世の中になりました。けれども忘れないで欲しいのは、世界は悪意だけではなく、小さな奇跡や善意、優しさにもあふれているということです。ニュースやネットには決して収まらないほど、世界は想像以上に広く多様です。誠実に日々を生きている無数の人々がいて、世の中を形作っています。この広い世界の中には、誠実に学ぶあなたにしかできないことが無限にあります。あなたに出会うことで救われる人が必ずいます。そのために、今、学ぶのです。それが、学ぶことの意味です。

これから「どう生きるのか」「何のために生きるのか」を探す長く孤独な旅が始まります。それは同時にワクワクするような冒険の旅でもあります。

在学中に沢山の出会いや経験の中から、自分自身を誇れる何かを見つけ、他者の誇りに敬意を払い、自らが学ぶ意味を問い続けてください。それが本校で学ぶすべての人の果たすべき責任です。

新入生の皆さん。改めて入学おめでとうございます。青森東高校は皆さんたちに高いレベルでの知性と、品位ある振る舞いを求めます。同時にこれから皆さんがするであろう、多くの失敗を許容します。我々教職員もまた挑戦や失敗を繰り返しながら、皆さんとともに歩みます。

これから始まる高校生活が実り多いものであることを心から願って令和8年度入学式式辞いたします。